

2025 年 10 月 30 日

各位

会 社 名 株式会社日本エム・ディ・エム
代表者名 代表取締役社長 弘中 俊行
(コード番号 7600 東証プライム)
問合せ先 I R 室 棟近 信司
(03-3341-6705)

2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 9 月 5 日に公表した 2026 年 3 月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株当たり当期 純利益 (円)
前回発表予想 (A)	25,450	1,010	900	600	22.78
今回修正予想 (B)	24,800	700	550	300	11.38
増減額 (B-A)	△650	△310	△350	△300	
増減率 (%)	△2.6%	△30.7%	△38.9%	△50.0%	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期通期)	25,114	1,555	1,488	△461	△17.54

(2) 修正の理由

通期連結売上高は、米国において人工股関節新製品「Trivicta Hip Stem」の全国販売による売上拡大を計画しておりますが、外部に製造委託している人工膝関節製品の一部コンポーネントで納期遅延が継続しており、主に Balanced Knee System - Revision などの製品で供給制約が続く見込みです。これにより、一部顧客に対する販売機会の喪失が発生しております。

営業利益については、販管費効率化の取組みを進めているものの、売上高減少に伴う売上総利益の減少に加え、自社製造能力の拡大や品質保証体制の強化に向けた先行投資としての人員配置・教育費用等により、労務費を中心とした間接費の増加が見込まれます。なお、欧州・アジアからの調達に係る米国相互関税の影響は前回の下方修正時にすでに織り込んでおり、今回新たなコスト増要因とはなっておりません。一方で、下半期の想定為替レートを 1US ドル 148 円から 152 円に見直したことにより、日本での輸入仕入原価の悪化を見込んでおり、営業利益は前回予想を下回る見通しです。

これに伴い、営業利益の減少を受けて、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益も前回予想を下回る見通しです。

当社は、第 3 四半期より順次開始する人工股関節新製品「Trivicta Hip Stem」の全米展開を通じた顧客基盤の拡大に加え、製造原価低減プロジェクト (SAICO プロジェクト) の推進を通じて、米国を経由せず日本へ直接出荷するスキームの構築など、より効率的なサプライチェーン体制の整備を検討しております。

あわせて、販管費効率化を通じて収益性の改善を引き続き進め、収益の回復と持続的成長の実現に努めてまいります。

2. 通期配当予想について

上記の通り通期連結業績予想を下方修正することとなりましたが、当社は株主の皆さまへの安定的かつ継続的な利益還元を経営の重要方針としております。今回の見通し修正にあたっては、来期以降の業績回復見通し及び財務基盤の健全性を総合的に勘案し、前回発表予想どおり 1 株につき 17 円の年間配当を維持する方針です。あわせて、人工股関節新製品「Trivicta Hip Stem」の全米展開による成長機会の拡大、SAICO プロジェクトの推進、及び販管費の最適化を通じて、収益性の改善と持続的な株主還元の実現に努めてまいります。

※上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる可能性があることにご留意ください。大きな変動が見込まれる場合は速やかにお知らせいたします。

以上